

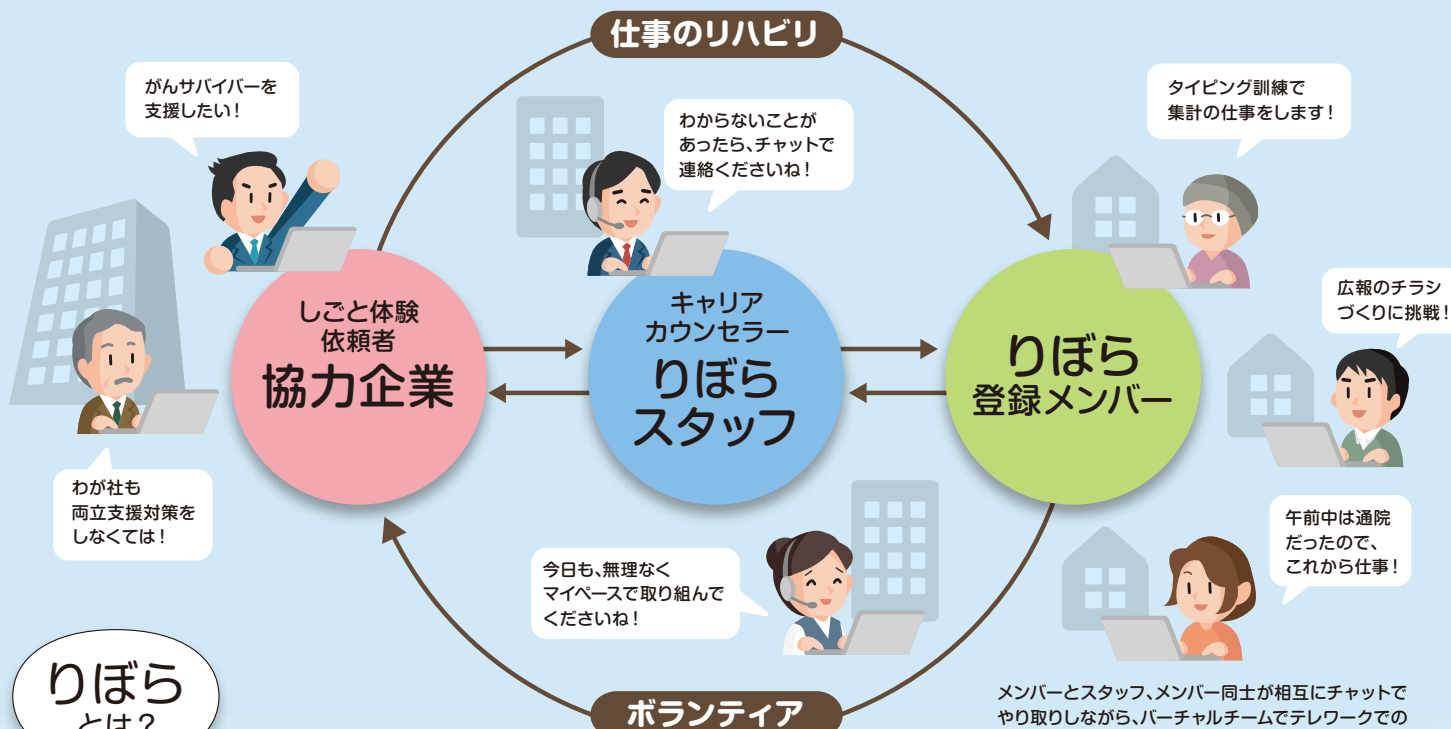
がん
経験者対象

「働く自分」を取り戻し、がんになった経験を社会に活かそう。

りぼら

がんになったら
“りぼら”しよう!

協力企業から依頼された仕事をボランティアで体験することで
「働く」リハビリをしながら、「働ける自信」「働く自分」を取り戻していきます。
だから、リハビリ+ボランティア=“りぼら”なのです!



りぼら
とは?

がんサバイバーのための 仕事のリハビリプログラム

オンライン 約2か月 少人数制 両立支援 ボランティア PC貸出あり 就職活動

“りぼら”のキャリアカウンセラーは、両立支援と就労の専門家集団です。
あなたらしさを見出し、そこから多様な選択肢や可能性を広げるサポートをいたします。

りぼら基本プログラム

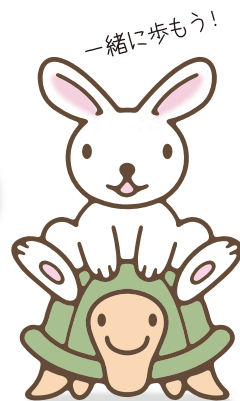
- 個別キャリアカウンセリング 最大3回・1対1
 - キャリアセミナー 4回・各回2時間半・6名以内の少人数制
 - ボランティアしごと体験 最大5日間*1
- (就職活動準備セミナー) 1回・希望者のみ

*1 体調や都合により時間や日数は調整できます。

*2 りぼら基本プログラム修了後の、キャリアカウンセリングなどのフォローは有料です。

無料*2

まずは
りぼら会員登録
こちらから

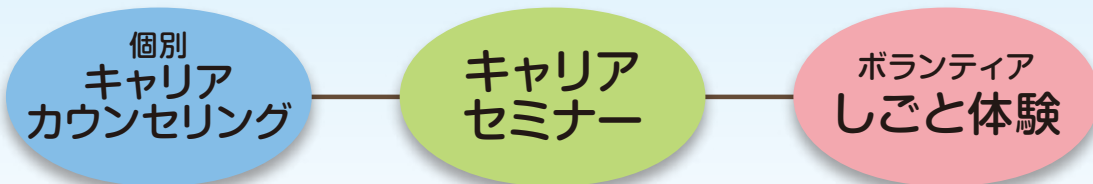


りぼらイメージキャラクター

これからは…

自分らしく生きる・自分らしく働く！ “りぼら”で最初の一步を踏み出しませんか？

りぼら基本プログラムの3つの柱



就労の専門家に話すことで自分の考えが整理され、大切にしたいことが明確になります。準備するとしないとでは大違い！一緒に作戦を立てましょう。

がんになった後の働くってどんな感じ？企業側は本当のところどう思っているの？先輩サバイバーや企業の話聞いてみましょう。

実際に復職前後のシミュレーションをしてみよう！やってみることで対応策が見え、復職後に向けたイメージが具体的になります。

がん治療が一段落するころ、こんな不安はありませんか？

- 以前と同じように働けるのだろうか？
- どのタイミングで仕事に戻れるのか？
- どうやって周囲に伝えよう？



へえ～。この人も手術後に体力が落ちて通勤が不安なんだ…。

私も同じですよ。

あなたの経験を言葉にしてみませんか？ そこには「あなたらしさ」がギュッと詰まっています。

カウンセラー自身にも、がんサバイバーが多いのが、りぼらの特徴です。

*「りぼら」は、公益財団法人日本対がん協会による休眠預金を活用した「がん患者支援の助成事業」に採択されたプロジェクトです。

休眠預金活用事業とは、休眠預金等活用法に基づき、休眠預金を活用して、行政が対応することが困難な社会の諸課題の解決を目指す事業です。

【休眠預金指定活用団体】一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)

【資金分配団体】公益財団法人日本対がん協会

【後援】がんサバイバー・クラブ

【実行団体】特定非営利活動法人日本キャリア開発協会 (JCDA)

協力企業様 募集中

両立支援を推進したいと考えている企業の皆様へ

りぼらのしごと体験を通して、両立支援を実際に行ってみませんか？
両立支援推進のきっかけとして是非ご利用ください。
ご連絡をお待ちしております！

まずは
りぼら会員登録
こちらから

連絡先: 日本キャリア開発協会 両立支援担当 03-6661-6221(代表) ✉ ribora@j-cda.jp



希望と共に生きる
がんサバイバー・クラブ
https://www.gsclub.jp

